

プローブ情報を活用した“通れたマップ”実証実験

投稿されたプローブ情報の概要

2018年3月

実証実験の概要(データ収集・マップ作成)

- 2017年11月下旬～2018年2月に、車いす使用者の方に実証アプリ(WheelLog!)を用いてプローブ情報の投稿を呼びかけた結果、車いす使用者154名がプローブ情報を投稿。
- 収集したデータの1トリップあたりの平均時間は4分程度。
- 収集したデータの空間分布について、人が集まるターミナル駅周辺でデータが多く投稿される傾向。

収集したデータの内容

項目	内容
期間	2017年11月26日～2018年2月28日
協力者数	<ul style="list-style-type: none"> 車いす使用者:154名
収集情報の概要	<ul style="list-style-type: none"> 総記録時間:106時間分 トリップ数:1,547トリップ 平均時間:4分/トリップ

(参考) 周知方法

- ✓ 国土交通省の報道発表
- ✓ 国土交通省、WheelLog!のWebページ等での周知
- ✓ 障害者団体を通じた会員等への周知(チラシ、Web、SNS)

収集したデータの空間分布

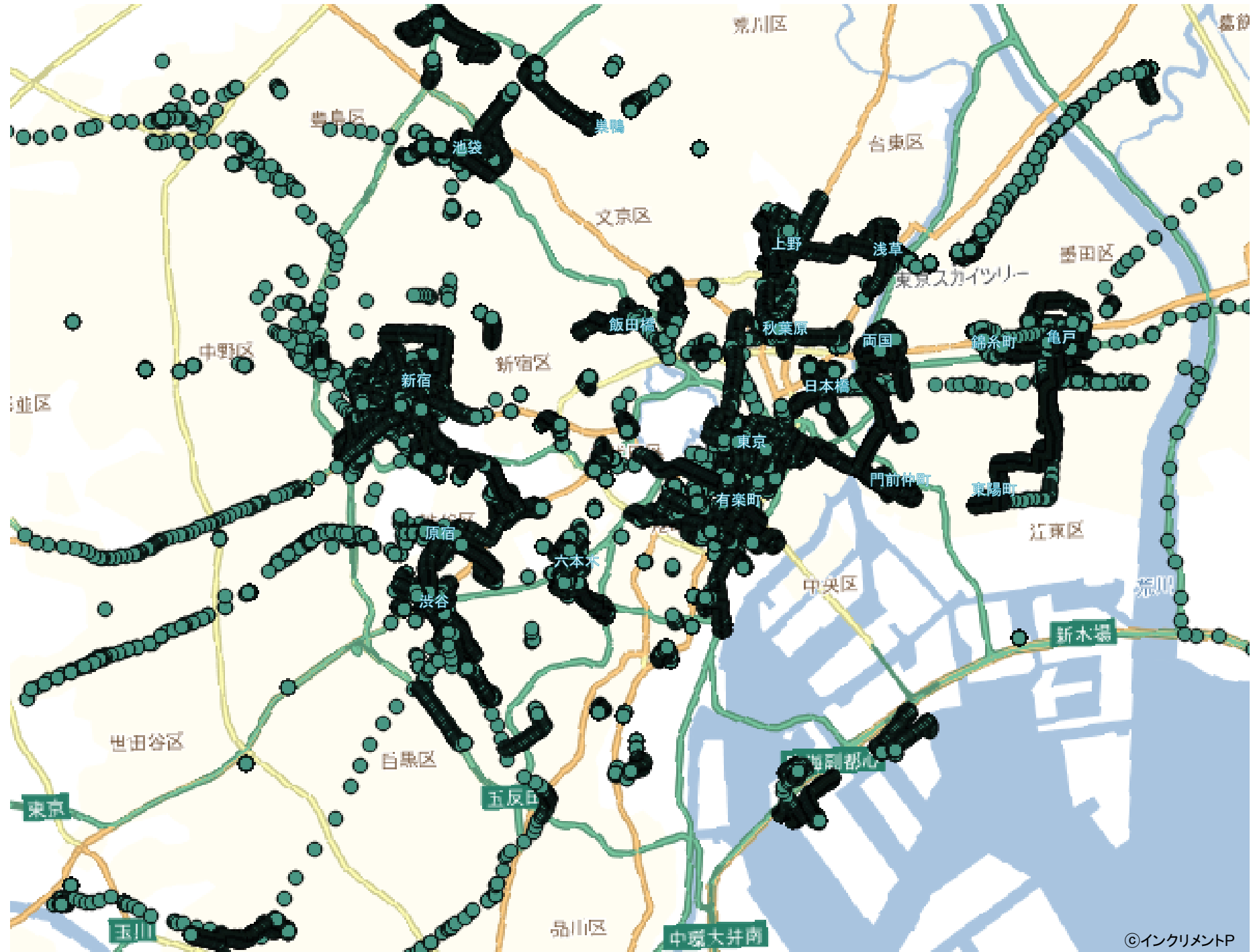
【空間分布の分析方法】

- 東京23区全体におけるデータの空間分布を概観。
- データの集積が見られるターミナル駅(東京駅・銀座駅・秋葉原駅)を代表例として、駅を中心とする半径500mのエリア内のデータを抽出し、歩行者のネットワークデータにマッチングを実施。マップマッチングされた結果をもとに、詳細に空間分布を確認。

【分析結果】

- 東京23区全体を概観した結果、新宿駅や渋谷駅、東京駅等の人が多く集まる交通結節点の周辺エリアにおいて、データも多く投稿されている状況を確認。
- 抽出した3駅のデータを確認した結果、各エリアとも4～10名の投稿者により、主に広幅員の道路や商業施設の周辺においてデータが多く投稿されている状況を確認。

投稿されたプローブ情報の概要（東京23区全体）



投稿されたプローブ情報の概要 (東京駅・銀座駅・秋葉原駅周辺)

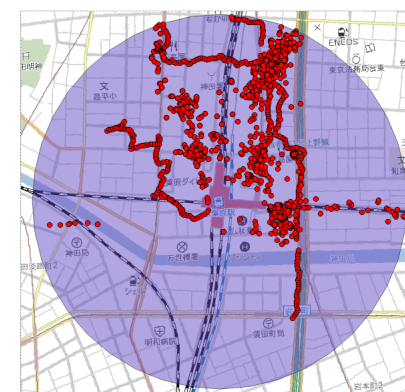
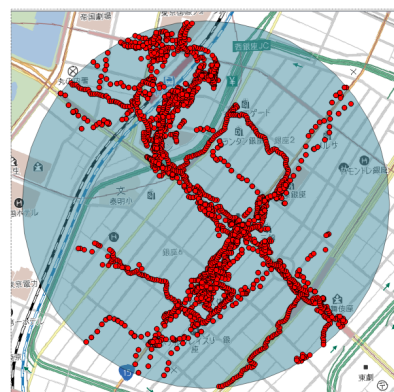
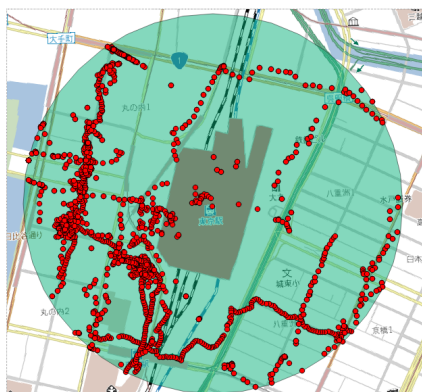
- 人が多く集まる交通結節点として東京駅、銀座駅、秋葉原駅の半径500m以内で投稿されたデータを対象として歩道へのマップマッチングを実施(通れたマップの作成)。
- 広幅員の道路や商業施設が立地するエリアにおいてデータが多く投稿される傾向。

東京駅周辺

銀座駅周辺

秋葉原駅周辺

投稿データ



通れたマップ

